

私たちは、命のつながりに思いを馳せる暮らしを提案し、心豊かな生き方のお手伝いをします。

創業 明治 44 年 命のつながりを想う

発行 有限会社 長門屋
編集：未来の種まき委員会
990-0042
山形市七日町 1-4-12
TEL 023-622-2204
FAX 023-622-2203
<http://oshironomise.com>
2026 年新春 第 44 号

あどつあま

“あどつあま”とは…

仏様をです方言。米沢の方では住職様、僧侶をです方言です。
宗教の知識を通してお役にたてれば嬉しいです。



長門屋

お城の店が目印です。

2025 年は こんなことがありました！
皆さまからのご厚情に、心より御礼申し上げます。

長門屋の五大ニュース！



1. 「天然香料のお話つき お香づくり講座」が大人気！

Instagram のインフルエンサーの方がひなた蔵での講座の様子を動画で紹介してくれたことで、毎回申し込みが殺到！遠くは、県外からもご参加いただき、SNS の力を実感しています。



2. 小学生向けの出張「お香づくり講座」にも発展！

その縁からお呼びがかかって出張したのは、ご近所の「デコボコ英語」さんのサマー・スクール。こちらでは「香を楽しむ」or「虫除け」のレシピで「お香づくり」をしました。こんなにも沢山の香りを一度に嗅ぐ機会は、他にないかと思います。大人が大好きな「白檀」の香りは、なんとも不人気でした。



3. 山形新聞「わが社のイチ押し」で「仏壇のリメイク」をご紹介いただきました。

仏壇の継承にまつわる課題に、応えることができる「仏壇のリメイク」。お仏壇を丸ごと小型化するほか、家紋や彫り物等、部分的な継承についてもお相談ください。

4. 山形大学インターンシップ受け入れ。

人文社会科学部 1 年の学生さんを 3 日間受け入れ、長門屋の仕事を体験してもらいました。後日、大学で行われた成果発表会で「長門屋の魅力は“地域の人とのつながり、その深いつながりの中の、信頼され頼られるという関係性。お客様から教えられるという関係性” だと思いました」との感想が聞けて、とても嬉しく思いました。「なぜここで働いているのですか？」と真摯に問いかけてくれたお陰で、一人一人が「職業観」を見つめる機会になりました。



5. 山口さん、ご苦労様でした！

長門屋に嫁いでから 60 年。4 人の子育て期や両親、夫の介護もありながら、いつも店の奥の小上がりの定位置に座り、お客様が来ると誰よりも先に対応し、同時に私たちを見守り続けてくれました。晴れて、店の仕事からは引退したものの、奥のお寺の案内役や庭仕事では現役です。



新年の抱負を込めた「私の一文字」



てらす
照

背伸びせず、ありのままの自分を「照」らして認め、前向きに過ごすこと。その心の明るさで、周りもそっと「照」らせたらうれしいです。

笹林陽子



とき
時

50歳を過ぎ、1日1ヶ月、1年と時が過ぎる速さを痛感しています。限られた時を有意義に過ごせるよう新たな1年を過ごしたいです。

國島潤一



ひとつ
一

約百年間にわたり知恵に根差し仏壇仏具を販売してきました。昨年は、同業店が閉じました。時代の変化を感じています。襟を正して職人と一丸となりお客様ニーズに応えていかなければならないと思います。

後藤久嗣



ひのえ
丙

「太陽のように明るく、活動的で、情熱的、かつ決断力がある」と言った意味があるそうです。そんな1年にしたいです。

小瀧美樹



つづける
続

「継続」を令和8年の目標にしたいと思います。継続と連続は違うのだそうです。様々な事柄について、毎日連続で出来なくても、自分なりのスピードで継続できればと思います。

北條有希



すすむ
進

今年の目標として、資格試験に挑みたいと考えています。取得や日々の仕事の勉強に取り組み、自身の目標に進むという意味で「進」にしました。

白幡京香



つづく
続

継続することは大変なことと思う。諦めず、へこたれず、続けることが大切と思うがなかなか思い通りにいかないのが世の中。

齋藤金五郎



情熱と行動力で、挑戦と飛躍の
1年になればと思います。
2026年も、どうぞよろしくお願いいたします。